



KFR・大阪府立大学大学院工学研究科海洋システム工学分野共催セミナー

水中音響に関する基礎技術講座

近年、水中音響に関する関心が世界的な高まりを見せています。人為的な水中音の発生源は、水中爆発、地質調査、ソーナー、船舶、沿岸発電設備、海洋工事など多岐に亘ります。これらの音が海洋生物に与える影響や対策の必要性について、生物多様性条約（CBD）をはじめとする国際的な会合において検討がなされています。船舶分野でも、国際海事機関（IMO）において船舶による水中音の低減に関するガイドラインを策定していますが、更なる対策の検討を求める動きもあります。

水中音響の計測や伝搬は、これまで、民生用船舶業界での主流のテーマでは必ずしもなかったことは事実でしょう。今回の KFR 例会では水中音響の国内の専門家 3 名をお呼びし、基礎的な技術的内容を解説いただけることになりました。ご関心をお持ちの多数の方々のご参加をお待ちしております。

KFR 会長 梅田 直哉

— 記 —

第342回 KFR セミナー

- 日時：2018年8月27日（月）1400～1650
- 会場：大阪府立大学 I-siteなんば 講義室C1
大阪府大阪市浪速区敷津東2丁目1-41
<http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/>
- 参加費：無料，要事前登録

- ・ 船舶による水中騒音に関する最近の動向（大西 泰史氏：国土交通省海事局海洋・環境政策課）

船舶を含む人為的な水中騒音が海洋生物に与える影響や対策の必要性等について、生物多様性条約（CBD）をはじめとする様々な場において議論がなされています。本発表ではこれらの最新の動向をご紹介します。

- ・ 船舶流体雑音計測の基礎（毛利 隆之氏：防衛装備庁艦艇装備研究所）

流体運動に起因して生じる船舶雑音を対象にした、試験計測技術の基礎的内容についてについて解説を依頼中。

- ・ 音響伝搬の基礎（太田 和彦氏：金沢工業大学工学部ロボティクス学科教授）

海洋では深度方向の圧力変及び水温変化の影響で音速が変化するため、これにより音波は伝搬過程で屈折するとともに、海面や海底での反射の影響で場所的に複雑な音場が形成されます。本発表では海中における音波伝搬に関する種々の現象について紹介いたします。

ご参加のお申し込みは、8月20日（月）までに下記連絡先までお願い致します。セミナー終了後、懇親会（1730開始、本格中華 けむり屋&フラワー なんば店、一般=5,000円、学生=3,000円）も予定しています。こちらにもぜひご参加ください。お手数ですが、懇親会への参加希望についても併せてご連絡をお願い致します。なお、懇親会欠席のご連絡は前日までお願い致します。

ご参加申し込み連絡先：関西船舶海洋流体力学研究会（KFR）事務局
牧 敦生（大阪大学大学院工学研究科）
TEL：06-6879-7579 FAX：06-6879-7594
E-mail：maki@naoe.eng.osaka-u.ac.jp

会場までのアクセス

(大阪府立大学 I-site なんば HP より転載)
<http://www.osakafu-u.ac.jp/isitenanba/about/map/>



懇親会場 (けむり屋&フラワー なんば店) までのアクセス (KFR 幹事が引率いたします)

(本格中華 けむり屋&フラワーHP より転載)
<http://kemuri-ya.com/shops-map/>



●I-siteなんばまでのアクセス

- 南海電鉄「なんば駅（中央出口）」下車、南海線東側の道を南へ約800m、徒歩約12分
- 地下鉄御堂筋線「なんば駅（5号出口）」下車、南へ約1,000m、徒歩約15分
- 地下鉄御堂筋線・四つ橋線「大国町駅（1番出口）」下車、東へ約450m、徒歩約7分
- 地下鉄堺筋線「恵美須町駅（1-B出口）」下車、西へ約450m、徒歩約7分
- 南海電鉄高野線「今宮戎駅」下車、北へ420m、徒歩約6分

以上